

八丁尾根 [編集する](#)

2013年08月13日 00:11 友人の友人まで公開

12 view



「鎖を無視するから、ハーネス持ってきて」

と、Oさんからこんなメールが。(Oさんのメールは、いつも簡潔!)

今年に入ってから山岳教室でネタを仕入れてくるOさんは、もともと岩登りにも興味はあったそうで、最近
はザイルやカラビナ等の登はん用具もそろえ始めている。

ただ正直、冒頭の至ってシンプルなメールをもらったところで、どんな山行が想定されているのかがよくわか
らなかったが...

「一応ヘルメットも持っていきます...」

という返信をして、いざ当日 🍷

両神山。

数年前、日向大谷口から歩いたことはあるが、これといって特に印象深い山ではなかった。

ただ、今回歩いた八丁尾根はアップダウンが激しいルートで、鎖場もわんさか出てくる。よくいえば、妙義や
穂高の要素をコンパクトにまとめた、といっても過言ではないほどで、かなり刺激的な場所でした 🌟👉

【2013.8.4】

前夜、相模原を 24 時に出発し🚗、関越(花園 IC)経由で、八丁尾根登山口(上落合)に到着したのが翌朝 5 時 20 分。秩父は埼玉県といえども、何気に遠かった…。(むしろ那須より遠い気分...📍)

登山口から八丁峠までは、森の中のジグザグ道。一部急登だが、ゆっくり歩いてウォーミングアップ👣
(でも眠い💤)

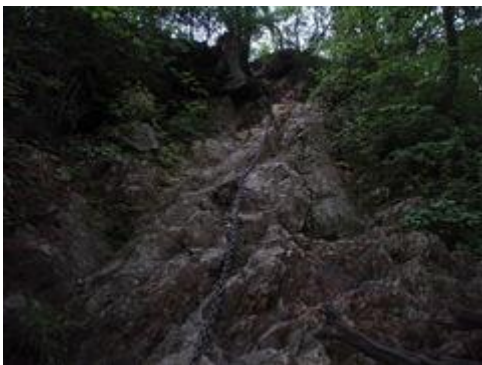
八丁峠は東西南北に延びる登山道の分岐点。ここから西に行けば赤岩岳につながる。しかし、地図上は破線ルートで、相当険しい岩場が待っている模様。O さんとは、余裕があればここも歩きたいね、と話していたのだが、実際八丁峠には、赤岩岳ルートに「立入禁止」の看板が立っていたので、本当に危険箇所なのかもしれない。(結局、帰りには時間的に余裕がなく、赤岩岳方面はパスでしたが...👉)

八丁峠～西岳～東岳は、急なアップダウンの連続で、要所要所に鎖が確保されている。ただ、今回は O さんから「鎖禁止令」が命じられていたため(笑)、普段からできるだけ鎖に頼らないようにはしていたが、今回は特に鎖には絶対に触らないように心がける😓

もちろん、鎖を掴まないとすれば、やはり足場の確保に重きを置く。ただ登りは勢いで登れても、下りの方が慎重にならざるを得ず、あまりに厳しそうな場所なら O さんのザイルで乗り切ろう、というのが今回のテーマ。

実際、ザイルを使ってまで下りたい場所は少なかったが、懸垂下降の練習にもなるだろうと、敢えて何度もザイルを張った。ザイルがあれば下りはらくちんなのだが、O さんいわく、ザイルを張って、またしまつて、という作業が面倒くさい、とのこと。すべては一長一短だ😓

では、鎖場のほんの一部をご紹介します。





そして、この道中、特筆すべきは...



雲海💕

まさに



雲の上まで歩いてみよう👍



雲海を眺めながら、ロープを片づけるOさん😊



深山幽獄! ✨

東岳～剣ヶ峰までは、これまでのアップダウンがまるで嘘だったかのようなルート。それでも山頂付近に急な鎖場が出てくるが、八丁峠～東岳に比べれば、難所は少ないといえる。もちろん油断は禁物だが、頑張って歩いたところで、



両神山頂 

ちなみに、山頂はそれほど広くなく、平らな場所もないので、いちばんの休憩ポイントは東岳。テーブルとベンチがあり、通行人も少ないし、それはもう昼寝ができてしまうほど💡 (Oさんの山行は、毎回寝不足に始まり、昼寝は欠かせないのでありますx)

帰りも、同じルートを引き返す。時間には余裕があるので、ロープで遊びながら帰ろう、とそんな気分。急で長い下りの岩場だけロープを張る。何度か行方中で、ATC管とエイト管との感覚の違いや、ザイルの緩急をつけながらの送り出し等が体感できた👍



久々に触ったエイト管。ロープのかけ方はこんな感じ。



ロープの支点は、岩に埋め込まれた鎖場の支点を使わせてもらいました。



〇さん👍



ww も 🙌

学生時代、登山研修で学んだ登はんは、それほど楽しかった思い出もなかったのだが(もちろんいい経験にはなったと思っているが)、今回は懸垂下降をただけでもわくわくだった 📈 わざわざ重たい 12mm×30m と、8mm×15m のザイルを 2 本持ってきてくれた O さんに感謝!!

いずれ機会があれば、2 人組でお互いを確保しあいましょう 😊

🔥 笛吹の湯 (¥500)

家族連れで賑わってた。可もなく不可もなく。

ただ、現地に来て気付いたのだが、何気にここは 2 回目だった。(前回は乾徳山の帰り。) でもほとんど覚えてない。まあそれくらいのレベルなのだろう、ここ 🤔

帰りに寄ったお店では、ほうとうを狙って入ったものの、完売ということで、



甲州名物「おざら」

いわゆる、ほうとうのつけ麺。つけ汁は暖かく、油揚げ、舞茸、椎茸、ねぎ、人参等の具材もたくさん入っていました。

で、帰りは、また例によって長い長い道のり。雁坂トンネルをくぐり抜け、塩山経由にしてみたが...🚗、秩父。ほんとに遠いです💧